

令和7年度 事務事業評価シート（1）

[令和6年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業			事業番号	010-044
担当部署名	環境	局	環境事業	部	環境事業管理 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～	施策	(4) 4Rに根差した循環型社会の形成	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①4Rの推進とごみの適正処理体制の確保			
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	1人1日当たり家庭系ごみ排出量			
		寄与するKPI	有	現状値	643g(2019年度)	目標値	628g(2025年度)	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール①つくる責任つかう責任	ターゲット	12.2,12.5	
		寄与するKPI	有	取組	ごみの減量化、リサイクルの推進			
	施策との関連	有・無	指標名	1人1日あたり家庭系ごみ排出量				
	寄与するKPI	有	現状値	617g(2022年度)	目標値	628g(2025年)		
2	関連計画	堺環境戦略、堺市一般廃棄物処理基本計画、堺市一般廃棄物処理実施計画						
3	事業開始年度	平成 29 年度	点検対象年度	令和 7 年度				
4	実施根拠	水銀による環境の汚染の防止に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁				
6	事業の対象	市民	対象数	808,404	単位	人
7	事業の目的	家庭から排出される水銀使用廃製品を適正に回収・処理（リサイクル）することにより、水銀による環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全を図る。また、水銀使用廃製品のリサイクルを推進する。				
8	事業内容	家庭から排出される蛍光灯、乾電池、水銀体温計等の水銀使用廃製品について、国のガイドラインに基づき、分別回収（拠点回収）・適正処理（水銀回収・リサイクル）を行う。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容					
9	主な支出先	収集運搬業者、処理（リサイクル）業者				
10	公民連携・協働事業	市内協カスパー等での回収				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位	kg	実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
				目標値	121,000	117,000	111,000
				実績値	108,092	110,083	
	達成率	89%	94%				
	当該指標を選定した理由	水銀使用廃製品の回収は、水銀等の環境への排出を抑制し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	令和5～6年度：堺市一般廃棄物処理実施計画、令和7年度：堺市一般廃棄物処理基本計画					
12	活動指標	単位	箇所	実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
				目標値	82	82	81
				実績値	83	82	
	達成率	101%	100%				
	当該指標を選定した理由	市民の利便性を考慮しつつ、水銀使用廃製品の適正排出を促進するため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	人口1万人あたりにつき1拠点設置					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	水銀使用廃製品適正回収事業	事業番号	010-044
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。

（単位：千円）

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	25,333	24,158	25,878	25,412	25,037
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	25,333	24,158	25,878	25,412	25,037
14 人件費 (b)	15,435	15,920	15,660	15,660	15,840
15 年間経費 (c)=(a)+(b)	40,768	40,078	41,538	41,072	40,877

事業費の内訳

（単位：千円）

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	手数料	R6	決算	25,234	25,234		
		R7	予算	24,778	24,778		
	普通旅費	R6	決算	82	82		
		R7	予算	153	153		
	消耗品費	R6	決算	48	48		
		R7	予算	43	43		
	自動車借上料	R6	決算	38	38		
		R7	予算	38	38		
	通信運搬費	R6	決算	10	10		
		R7	予算	25	25		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和5年度	令和6年度
		108,092	110,083
② 上記①にかかる年間経費	千円	37,049	37,251
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	343	338
算出についての説明等		対象品目の収集・処理・処分経費に係る経費に限定して計上している。	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 水銀使用廃製品として排出される乾電池は近年減少傾向にあったが、今年度は4%増加したことから全体としての回収量も増加している。単位当たり経費が減少していることから、効率的・効果的に水銀使用廃製品が回収できたものと考え。

蛍光灯の排出量については依然として減少傾向が続いているが、2027年末までに予定されている製造禁止が広く周知され始めていることもあり、今後はLEDへの切り替えに伴う一時的な排出量の増加も想定される。

上記の理由により回収量の増減は予測が難しい状態が続くが、長期的には減少する傾向にあるため、今後も回収方法・回収品目の見直しを行いながら効率的な事業実施を図っていく。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 水銀使用廃製品を適切に処理することは、水銀による環境の汚染の防止に関する法律及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律により義務付けられており、水銀使用廃製品の分別回収により、環境の汚染を防止し、市民の健康の保護及び生活環境の保全に寄与することができた。

水銀使用廃製品の適正排出など、ごみの分別回収は市民のごみ減量化の意識向上につながると考えられるため、KPIの達成に寄与している。